



アラカルト

日本鉄鋼協会創立100周年記念事業

第5版鉄鋼便覧刊行の報告

Publication Report of Handbook of Iron and Steel 5th Edition

第5版鉄鋼便覧委員会

Committee for Handbook of Iron and Steel 5th Edition

1 第5版検討から執筆へ：3つの編集方針

先の第4版鉄鋼便覧は第3版発刊以降20年間の進歩・発展を追補し、新しい分野として「計測・制御・システム」と「環境」の2巻を追加して、H14年にCD-ROM版として発刊された。第4版発刊時の反省を踏まえ、第5版では、十分に検討する時間をもって適切な時期に「全面改訂すること」が期待された。まず、H17年から本会育成委員会が検討に着手し、生産技術部会における調査結果等から、外島健吉記念資金を利用して本会創立100周年（H26年）に向けて第5版を刊行することがH18年に決定された。

この決定に従って、「便覧作成の基本的考え方」がアドバイザーボードにおいてまとめられた。「膨大な第4版の内容にその後の進歩・発展を追加した後、3分の1の頁数に圧縮・簡潔化すること」が基本方針となった。ついで鉄鋼便覧発行準備WGにおいて具体的内容を議論し、H22年4月に育成委員会から独立した第5版鉄鋼便覧委員会（友田陽委員長・西村俊弥副委員長）が発足した。

会員アンケートの実施や参照すべき他の便覧等関連文献の各専門分野第一人者への調査依頼等を行いながら「あるべき便覧とその編集方法」について検討した結果、「使いやすさを重視」して書籍版で刊行することにした。ここで掲げた編集方針は以下の3項目である。

- ① 鉄鋼の学術・技術の歴史的な変遷を踏まえて、公知の学術技術の最先端まで分かり易く簡潔に記載する。
- ② 最新の学術・技術のデータを掲載する。
- ③ 教科書の内容や過去の詳細な内容は文献を紹介することで、便覧からは割愛し、コンパクト化する。

本会の日常活動の一部として作業を進めることが効率的で活動の活性化に役立つと考えて、学術部会を主体に以下の6巻構成とした。執筆・編集作業は、各々の巻の特徴に応じて

生産技術部門および鉄鋼連盟等関係者との共同作業となった。

第1巻：製鉄・製鋼（高温プロセス部会、有山達郎・巻リーダー（製鉄編統括）、月橋文孝・製鋼編統括）

第2巻：圧延・二次加工（創形創質工学部会、柳本潤・巻リーダー）

第3巻：材料の組織と特性（材料の組織と特性部会、足立吉隆・巻リーダー）

第4巻：分析・試験（評価・分析・解析部会、藤岡裕二・巻リーダー）

第5巻：計測・制御・システム（計測・制御・システム工学部会、佐々木純・巻リーダー、長棟章生・前巻リーダー）

第6巻：環境・エネルギー（環境・エネルギー工学部会、長坂徹也・巻リーダー、村上英樹・委員）

2 発刊・販売へ：低価格提供のために出版社変更、目標を上回る販売結果

第5版鉄鋼便覧を個人へ普及するために低価格での販売実現を検討した結果、執筆依頼後であったが、丸善による出版から鉄鋼協会による出版（印刷をレタープレス（株）に依頼）に切り替えた。これにより、販売価格を大幅に下げることが可能となった。なお、低価格化にもかかわらず書籍としての完成度は高い。これは、様々な問題点を企画グループで随時検討し対策を講じたこと、各巻編集担当者の献身的な努力に加えてレタープレス（株）および本会事務局担当者の丁寧で忍耐強い対応による結果であり、「良い便覧にしたい」という関係者の熱意の賜物である。

当初計画より4ヶ月遅れて全6巻がH26年8月31日に同時発刊された。発刊が遅れた主な理由は、一部の著者の原稿執筆の遅れと完成度を上げるために校正回数を増やした（巻により異なり6～9回）ためである。予約期間（H25年3月27日

～10月30日)を設け、期間内の申込みは廉価な予約価格で提供したところ、多くの予約注文を受け、当初の印刷予定部数を増やして表1のように印刷・販売を行った。結果として本事業の収支は黒字となり外島健吉記念資金を増やすことになった。

アドバイザーボードによる基本方針どおりに、膨大な量の第4版に近年の進展内容を加えた後、記述内容を絞り大幅圧縮を行ったために、簡潔な便覧に仕上げることができた。これは各巻リーダーを中心とした編集担当者達の長期間にわたる努力によるものである。今回の便覧発刊事業では以下の点の特筆されよう。

- 1) 学術部会を軸にして巻の構成と編集体制を構築したことが、部会の自主性を高め、各巻の方針を明確にした作成作業に効果的であった。
- 2) レタープレス(株)を印刷会社を選定し、合理的な販売価格に設定できたことが販売部数の予想以上の増加につながった一因である。しかも綿密な校正作業を行うことができ、便覧の完成度を高めることができた。
- 3) 販売促進のための種々の努力(価格、予約PR、企業・大学の努力、クレジット払い、等)が結実し、販売数の増加を達成できた。

3 今後の改訂方針：電子版の検討と第6版の計画

本便覧が利用されるに伴って修正すべき点が出てくることが予想される。今後は各学術部会内に便覧見直しチーム等を作って正誤表を作成し本会ホームページ等で公開していただきたいと思う。なお、本便覧委員会の最終会議(H26年12月)において「便覧の今後」について意見交換を行ったので、主な意見(・感想)を以下に紹介する。

- 1) 第5版の電子版発刊に関しては、現在の書籍在庫がなくなり問い合わせが増えるようになったら検討する(3-5年後になると予想)。今回の原稿データはPDFファイルによる保存の他、EPUBファイル制作が可能のように組版してあるため、電子版出版の素材はほぼ準備されている。今後、電子図書の普及等諸般の状況から総合的に判断して電子版発刊を検討されるよう要望する(部分的改訂も容易である)。
- 2) 第6版刊行に関しては、大雑把に見積もって部分改訂が25年後、全面改訂が50年後と予想される。その時に、最も懸念されることは執筆者の確保であろう。本便覧の継続的改訂のために、各学術部会を中心に人材育成、専門知識の伝承について考慮していただきたい。
- 3) 本便覧は、日本語版のみとして、英語版は作成しない。

本便覧を身近に置いて日々の業務や研究開発に活用していただきたい。最後に、多くの会員の皆様のご協力で、世界に誇れる鉄鋼便覧を発刊できたことに深く感謝する。

便覧委員会メンバー(敬称略): 友田陽、西村俊弥、足立吉隆、有山達郎、上之俊昭、潮田浩作、宇都宮裕、大沼郁雄、佐々木純、瀬沼武秀、高山透、武田幹治、月橋文孝、土山聡宏、長井寿、長坂徹也、長棟章生、藤岡裕二、藤田文夫、村上英樹、柳本潤。

アドバイザーボードメンバー(敬称略): 友田陽、西村俊弥、長井寿、牧正志、潮田浩作、浅井滋生、武田幹治。

関連便覧文献等調査(敬称略): 稲葉晋一、松宮徹、藤田文夫、岡田康孝、鷺山勝。

(2015年1月5日受付)

表1 販売実績(12月3日現在)

巻(分野)	計画部数	印刷部数	販売部数	単巻販売数(内数)
1巻(製鉄製鋼)	600	760	734	360
2巻(圧延加工)	500	630	603	229
3巻(材料)	600	740	711	337
4巻(分析試験)	300	540	510	136
5巻(計測制御システム)	350	530	504	130
6巻(環境エネルギー)	350	530	490	116
合計	2,700	3,730	3,552	1,308

(全巻セット販売数は374、印刷部数に寄贈10セットを含む)